

公開授業、生徒のポスターセッションも
スーパーグローバルハイスクール
(SGH)事業の成果を発表
～1/26(木)、関西学院高等部で～

スーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定されて3年目の関西学院高等部は、教育関係者を対象に2016年度成果発表会を開催する。成果発表会では、尾木義久・関西学院大学高大接続センター次長による高大接続改革の今後をテーマにした講演会や公開授業、学生によるポスターセッションを行う。

※一般参加不可

■日時：1月26日(木) 13時30分～16時30分

■場所：関西学院高等部 第2視聴覚教室

■対象：全国のSGH校・SGHアソシエイト校関係者及び教育関係者

■スケジュール

<第1部>

13時30分～ 開会の辞 枝川豊・高等部部长

13時40分～ 本校SGH事業について報告

14時25分～

基調講演『文部科学省大学入学者選抜改革推進委託事業(主体性等評価)について～高大接続改革の今後「学びに向かう力をどう育むか、どう評価するか」～』

講演者：尾木義久・関西学院大学高大接続センター次長(文部科学省大学入学者選抜改革推進委託事業学長特命)

<第2部>

15時40分～16時20分 公開授業

1年生：「海外から見た日本」

(講師：ヘアマンセン・関西学院大学法学部教授)

2年生：「当事者参画型開発(PLA)」の授業まとめ」

(講師：磯村紗耶加・高等部教諭)

3年生：「成果報告・ポスターセッション」(グループ発表)

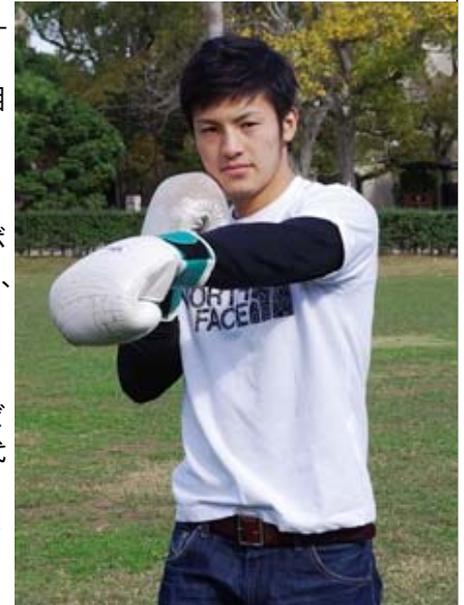
■問い合わせ：関西学院高等部(0798・51・0975)

在学中にプロボクサーに。
卒業後はチャンピオンを目指
してリングに立つ



宮本知彰さん(商学部4年生)

昨年7月にプロボクサーとしてデビュー。これまで3戦連続KO勝利と、注目を集める存在になっている。「兄がボクシングをやっていたので興味があった」と中学3年生でボクシングを始めた。しかし、同年代でボクシングをしている友人はゼロ、試合や実践練習の相手は年上の選手ばかりで「しんどかった」と言う。高校時代にインターハイ出場を果たしたが、大学入学後は練習に身が入らず、2年生までは試合にほとんど出たことがなかった。



転機は3年生の時。自分をかわいがってくれていた先輩がキャプテンになったことから「先輩のために頑張りたい」と奮起。真剣に練習して、関西や関東各地のプロジムに通ってプロの選手らとスパーリングを繰り返した。すると、その後のリーグ戦で全勝。2014年の全日本選手権に出場し、ベスト8入りを果たした。

引退後はボクシングを辞めるつもりだったが、アポロジム(大阪市淀川区)の会長に「プロにならないのか」と声をかけられ、「無名の自分に目をつけてくれたことが素直に嬉しかった」とプロへの挑戦を決めた。

戦う原動力は応援してくれる人への感謝の気持ちだ。「試合前は怖いけど、リングに入る時、応援に来てくれている人を見ると、負けられないと気持ちが入る。いつかベルトを取って喜んでもらいたい」と話す。

1/23(月) 梅田講演会 「死別の悲しみに向き合う-グリーフケアとは何か」開催

人間福祉学部の坂口幸弘教授(専門：死生学、悲嘆学)が1月23日、大阪梅田キャンパスで講演する。死別後に起こりうる悲嘆反応や経過、グリーフケアとは何かについて解説し、自分が身近な人の死を経験した時、あるいは死別した人をサポートする時に必要なことや役に立てることについて考える。

■日時：1月23日(月)14時～15時30分(受付13時30分～)

■場所：大阪梅田キャンパス1405教室(アプローチタワー14F)

■定員：80名(先着順)

■申込方法：ホームページ(http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/)又はFAXにて氏名、ふりがな、〒・住所、TEL・FAX、卒業生の方は卒業年・学部を明記の上、大阪梅田キャンパス(FAX:06・6485・5612)まで。

■問い合わせ先：大阪梅田キャンパス(TEL: 06・6485・5611)

